

平成 26 年度

2 級実験動物技術者認定試験

各 論
(ウサギ)

試験時間 : 13 時 00 分～15 時 00 分

解答は答案用紙の該当欄の○を1つ鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
○をはみ出したり塗りつぶし方が不十分にならないよう注意してください。

平成 26 年 8 月 17 日

(公社)日本実験動物協会

各論：ウサギ

それぞれの設問について、該当するものを1つ選び、解答用紙の該当欄の○を鉛筆で黒く塗りつぶしてください。

1. ウサギの一般的特徴について、正しい記述はどれか。
 - 1) 実験動物としての使用用途が極めて狭い。
 - 2) 実験動物として用いられているウサギの大部分はナキウサギである。
 - 3) 怒ると後肢で床を蹴って音を立てる行為がみられる。
 - 4) 気性が荒く、取扱いにくい。

2. ウサギが重歯目に分類される理由はどれか。
 - 1) 上顎切歯の2本が重なっているため
 - 2) 上顎切歯が生え変わるため
 - 3) 下顎切歯の2本が重なっているため
 - 4) 上下の切歯の総数が4本であるため

3. ウサギの上顎切歯の総数はどれか。
 - 1) 2本
 - 2) 4本
 - 3) 6本
 - 4) 8本

4. ウサギの赤血球の寿命はどのくらいか。
 - 1) 約50日
 - 2) 約85日
 - 3) 約100日
 - 4) 約120日

5. ウサギのエオジン好性の白血球はどれか。
 - 1) 単球
 - 2) 好塩基球
 - 3) 巨核球
 - 4) 偽好酸球

6. ウサギにおけるエオジン好性の白血球の役目はどれか。
 - 1) 栄養の運搬
 - 2) 細菌の処理
 - 3) 酸素の運搬
 - 4) 血液の凝固

7. 発熱性試験におけるウサギの体温測定部位はどこか。
- 1) 口腔
 - 2) 耳介
 - 3) 直腸
 - 4) 腋下
8. 古くからウサギが免疫血清の作製に使用されてきた理由の1つはなにか。
- 1) 結核菌に対する感受性が高い。
 - 2) 抗体を産生しやすい。
 - 3) 体温が測定しやすい。
 - 4) 性周期が安定している。
9. ウサギの食糞行動の理由はなにか。
- 1) 未吸収の栄養分を再吸収するため
 - 2) 過剰なストレスに対する防御反応
 - 3) 空腹を紛らわせるため
 - 4) 毛玉を排出するため
10. 日本白色種ウサギを小型化した系統はどれか。
- 1) AKR
 - 2) WHHL
 - 3) SHR
 - 4) JW-NIBS
11. WHHL ウサギは何の疾患モデルか。
- 1) 自己免疫疾患
 - 2) 遺伝性高脂血症
 - 3) 慢性閉塞性肺疾患
 - 4) 多発性硬化症
12. 有色のウサギはどれか。
- 1) ダッチ種
 - 2) 日本白色種
 - 3) ニューージーランドホワイト種
 - 4) 秋田ジャンボ種
13. チンチラ種やレッキス種の使用用途はどれか。
- 1) 愛玩用
 - 2) 毛皮・食肉兼用
 - 3) 食肉用
 - 4) 毛皮用

14. ウサギの四肢の損傷防止のために考慮しなければならない飼育器材はどれか。

- 1) 給水器
- 2) 給餌器
- 3) 床材
- 4) 飼育架台

15. ウサギの摂水不良の個体を把握する方法はどれか。

- 1) 残餌量を確認する。
- 2) ケージサイズを確認する。
- 3) 臭気を確認する。
- 4) 体温を測定する。

16. ウサギに適した固型飼料用の給餌器はどれか。

- 1) 床置き型のプラスチック製給餌器
- 2) 床置き型のガラス製給餌器
- 3) はめ込み式の金属製給餌器
- 4) バスケット型の金属製給餌器

17. 1.5kg 前後のウサギの 1 日あたりの給餌量はどれか。

- 1) 80～100 g
- 2) 120～180 g
- 3) 180～250 g
- 4) 300～500 g

18. ウサギにおける不断給餌のデメリットはなにか。

- 1) 尿量の増加
- 2) 飼料の劣化
- 3) 体重の減少
- 4) 湿度の逸脱

19. ウサギの尿が原因となる飼育器材の汚れはなにか。

- 1) 膿垢
- 2) 水垢
- 3) 尿石
- 4) 膿栓

20. ウサギの飼育管理作業について、正しい記述はどれか。

- 1) 飲水は毎日新鮮でなくてもかまわない。
- 2) 成長にしたがってケージサイズを変える必要はない。
- 3) 分娩前後の数日間はケージ交換を頻繁にしたほうがよい。
- 4) 離乳時の子ウサギは不断給餌法が適している。

21. 雌ウサギの尿道開口部の形はどれか。
- 1) 円筒状
 - 2) 円錐状
 - 3) 切れ目状
 - 4) 軽い火傷の痕状
22. ウサギの暫定的個体識別法はどれか。
- 1) マイクロチップ法
 - 2) 入墨法
 - 3) 耳パンチ法
 - 4) 色素塗布法
23. 正常なウサギの所見はどれか。
- 1) 切歯の過伸長
 - 2) 摂餌量の急変
 - 3) 目やにの分泌
 - 4) 光沢のある被毛
24. ウサギの外部寄生虫性の感染症はどれか。
- 1) 耳疥癬
 - 2) クロストリジウム病
 - 3) パスツレラ病
 - 4) コクシジウム病
25. 耳疥癬の検査法はどれか。
- 1) 糞便中の虫卵検査
 - 2) 尿の定性検査
 - 3) 耳介内側のセロハンテープ法
 - 4) 肛門周囲のセロハンテープ法
26. ウサギの交配時の雌の同居タイミングはどれか。
- 1) 排卵周期に合わせる。
 - 2) ケージ内の行動量で決める。
 - 3) 外陰部の色の変化をみる。
 - 4) いつでもよい。
27. ウサギの排卵周期はどれか。
- 1) 1～2 日
 - 2) 3～4 日
 - 3) 12～14 日
 - 4) 排卵周期はない。

28. ウサギの交尾確認方法はどれか。
- 1) 膣内の精子確認
 - 2) プラグの確認
 - 3) ロードシス反応の有無
 - 4) 腹部の膨満
29. ウサギにおいて触診による妊娠が確認出来るのはいつ頃か。
- 1) 交尾後 7 日目頃
 - 2) 交尾後 10 日目頃
 - 3) 交尾後 15 日目頃
 - 4) 交尾後 20 日目頃
30. ウサギで妊娠していないのに、巣作り行動や腹部の膨満がみられることを何というか。
- 1) 偽妊娠
 - 2) 妊娠中毒
 - 3) ストレス反応
 - 4) 栄養障害
31. ウサギで巣作り行動がみられはじめるのはいつ頃か。
- 1) 発情期
 - 2) 妊娠前期
 - 3) 妊娠後期
 - 4) 分娩後
32. 日本白色種ウサギの妊娠期間は平均何日か。
- 1) 28 日
 - 2) 31 日
 - 3) 32 日
 - 4) 34 日
33. 日本白色種ウサギの新生子の体重はどのくらいか。
- 1) 10～30 g
 - 2) 40～80 g
 - 3) 100～120 g
 - 4) 150～180 g
34. 中型種ウサギの平均産子数は何匹か。
- 1) 約 3 匹
 - 2) 約 4 匹
 - 3) 約 6 匹
 - 4) 約 8 匹

35. ウサギの離乳はいつ頃か。
- 1) 生後 5～10 日
 - 2) 生後 15～20 日
 - 3) 生後 25～30 日
 - 4) 生後 35～40 日
36. 離乳前の子ウサギの体重計の感量はどれか。
- 1) 1 g
 - 2) 2 g
 - 3) 5 g
 - 4) 10 g
37. 成熟ウサギの体重計の感量はどれか。
- 1) 1 g
 - 2) 2 g
 - 3) 5 g
 - 4) 10 g
38. ウサギの発熱性試験で用いられる保定器はどれか。
- 1) 首かせ型保定器
 - 2) 背位型保定器
 - 3) 円筒型保定器
 - 4) 箱型保定器
39. 皮膚に対する刺激性を観察する場合に適したウサギのヘアサイクルはどれか。
- 1) ラフスキン
 - 2) アイランドスキン
 - 3) スムーススキン
 - 4) ドライスキン
40. ウサギの皮内投与について、正しい記述はどれか。
- 1) 皮膚をたるませたほうが投与しやすい。
 - 2) 投与後に小さな丘状のふくらみができる。
 - 3) 投与液を温めておくなどの配慮が必要である。
 - 4) 投与部位を軽くつまみあげて投与する。
41. 投与時に投与部位にほぼ垂直に注射する方法はどれか。
- 1) 筋肉内投与
 - 2) 皮下投与
 - 3) 静脈内投与
 - 4) 皮内投与

42. ウサギの筋肉内投与部位はどこか。
- 1) 腹部
 - 2) 頸部
 - 3) 上腕部
 - 4) 大腿部
43. ウサギの筋肉内投与後に投与部位をよくもむ理由はなにか。
- 1) 止血のため
 - 2) 試料をよく浸潤させるため
 - 3) 投与による痛みをまぎらわせるため
 - 4) 試料の逆流を防ぐため
44. ウサギの腹腔内投与部位はどれか。
- 1) 下腹部の正中線よりわずかに離れた部位
 - 2) 腹腔前部の左側
 - 3) 腹部であればどこでも可能
 - 4) 正中線よりわずかに離れた腹腔の前部
45. ウサギの腹腔内投与の液量の目安はどのくらいか。
- 1) 2 ml 以下
 - 2) 約 5 ml
 - 3) 約 10 ml
 - 4) 約 20 ml
46. ウサギの安楽死処分に適した方法はどれか。
- 1) 無麻酔下で頭蓋打撲
 - 2) 頸椎脱臼
 - 3) 断頭器で断頭
 - 4) 深麻酔下で放血
47. ウサギの耳翼辺縁静脈への投与に適した保定器はどれか。
- 1) 円筒型保定器
 - 2) 背位型保定器
 - 3) 固定板
 - 4) 脳定位固定装置
48. ウサギにおいて麻酔下で実施する操作はどれか。
- 1) 採糞
 - 2) 自然採尿法
 - 3) 心臓採血
 - 4) 体温測定

49. ウサギにおいて反復採血が可能な採血部位はどこか。

- 1) 心臓
- 2) 耳翼辺縁静脈
- 3) 後大静脈
- 4) 腹大動脈

50. ウサギの部分採血部位はどこか。

- 1) 耳翼辺縁静脈
- 2) 眼窩静脈
- 3) 後大静脈
- 4) 尾静脈